



神奈川ウォーキング参加日22-⑱

## 三戸の畑道・荒崎からソレイユの丘

・日時：平成22年3月3日（水）

・コース：

- ①三浦海岸駅9：05→河津桜並木→小松ヶ池公園→三崎口駅。今日の本番②に合流。6,800歩（自宅分1,500歩含む）男5人と女7人、計12人
- ②三崎口駅10：00→三戸の畑道→黒崎鼻（ストレッチ）→和田長浜海岸→十文字洞→荒崎公園→それいゆの丘→15：40解散。（バス）→三崎口駅。26,500歩（自宅分1,500歩含む）男9人と女10人計19人、吉越さん所用の為、黒崎鼻まで。

### ・概要と所感

平嶋さんからの御誘いメールで、今日は節句「お雛様」であるが、2月28日（日）に末孫のお雛様を済ませたのと、他の行事の空き日で、その上、初めてのコースにつき、急遽参加決定メール。天候も温かくて、ウォーキングに最適の日でした。

地元吉越さんの追加①コースは、河津まで行かなくても「河津桜」と「菜の花」が未だ見られるとのこと、これにも参加する為、早朝6時前起床して行く。勅使河原・神谷・田村・平山のお馴染みの皆さんの顔も見え、男5人、女7人の12人になりました。今日は節句、吉越さん途中の屋店で「桜餅」を買われ、小松ヶ池で美味しく戴き「雛祭」を祝いました。

河津桜<河津町ホームページ>によりますと

河津桜は寒緋桜と早咲き大島桜の自然交配種で、花形は平開形で一重のやや下向き。花弁は5枚の円形無毛。蕾の時は濃紅色であるが、満開時は淡紅色。原木は河津町田中の飯田宅の庭にある。飯田勝身氏（故人）が昭和30年（1955）頃の2月に河津川沿いの冬枯れの雑草の中で、芽吹いている桜の苗を見つけて、現在地の庭に植えたものが、昭和41年（1966）から、1月下旬頃から1ヶ月にわたり咲き続けた。この桜は河津町に原木が有ることから、昭和49年（1974）「河津桜」と命名され、翌年河津町の木に指定された。したがって原木は樹齢約50年、樹高約10m、樹幅約10m、幹周115cm。







・栗谷浜漁港へ：そそり立つ奇岩と砂浜トレニン、ワカメの加工方法も見学しました。



サスペン  
スドラマ  
専用建  
物？



**荒崎海岸**

この海岸の特徴は、白い岩と黒い玄武岩が層を成す崖と海蝕洞にあります。(海蝕洞とは、波浪などの海水の運動により岩石や岩盤を侵食する作用のことです)

海中に長く突き出した台岩を海上といひ、懸崖台となっていて奥には、眼下に松の青と輝ける浪の白さが調和し、遠く相模・伊豆の連山や富士の容姿がすばらしい。また横山西方の小島を荒崎山といひ、嘉永3年(1850)頃、岩船津が台を築いた所です。シーサイドハイキングコースは、岸の音が響くあふれ、どんどんびき、十文字岩などを見ながら岩山が轟く、但馬崎を経て長浜まで徒歩を十分に楽しむことができます。

※ 岩石や足元に十分注意して歩きましょう。

磯崎町・神奈川県



イヌフグリの花？



・夕日の丘から熊野神社・観明寺へ



横須賀市指定民俗文化財  
**長井町 飴屋踊り**  
 昭和四十九年六月一日指定

長井町の新宿地区に江戸時代末期ごろ安房上総より伝えられたといふ踊りである。この踊りは、粉屋踊り、万作踊りとも呼ばれ、かつては関東一円にあったといわれ、頭に丸い板を乗せ、太鼓を叩きながら面白おかしく飴を売っていた飴売りのしぐさを、地域の人々が自分たちの踊りに取り入れたものといわれている。

踊りは、若衆によって演じられるのが一般的で、地域の祭礼や祝いの事にたぎに現れにわたって演じられていたが、戦後一時断絶し昭和四十八年頃から小中学生の女子が踊り手になり復活した。お年寄りのはやしに合わせ、手に傘を握ったあねさんかぶりの少女たちが演じる番外な舞止世能である。

踊りには手踊り（みんながそろいの手振りして踊る）と履物（せりふが入り物置風の踊り）の二種類あり、演目には「わんね」「踊り」「白井の舞」など二十種類ある。

平成四年三月  
 横須賀市教育委員会



← **長井の道切り・薬の刀・蛇・サイコロ**、3ヶ所の村境に張ってある。熊野神社で親切な叔父様に、詳しく聴かされました。



・ **それいゆの丘**に向かう。近くに有るのですが、少々迷う。地元の「お風呂に入る親切なお父さん」に案内してもらおう。ここは以前、深い谷間であり、ゴミ場に捨て場であった。その上を埋め立て造成した所で、所々に**黒いガス** (写真左) 抜きパイプが有る。

・ **それいゆの丘**、15時過ぎ到着。フランスの**プロヴァンス**地方の香り漂う**霧井気**の施設。農業体験が出来る。  
 ・ここで解散。アイスクリームや地元産おつまみとビールで今日の素晴らしい三浦海岸ウォークの疲れを癒す。御土産を沢山買い帰途に。15:43と最終16:17のバスで三崎口駅へ。御疲れ様でした。吉越さん・平嶋さん企画と案内有難うございました。

